



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社MCJ

コード番号 6670 URL <http://www.mcj.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼会長

(氏名) 高島 勇二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 石戸 謙二

TEL 03-5821-7114

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	61,309	4.8	750	△60.3	864	△59.8	608	△49.3
24年3月期第3四半期	58,474	△5.1	1,888	△16.8	2,150	△11.1	1,200	△11.2

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 553百万円 (△53.9%) 24年3月期第3四半期 1,200百万円 (17.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	11.98	—
24年3月期第3四半期	23.60	23.60

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	43,017	16,896	38.6
24年3月期	36,916	16,904	44.7

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 16,622百万円 24年3月期 16,488百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	5.14	5.14
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	3.26	3.26

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	85,279	6.3	1,478	△37.7	1,767	△32.4	1,104	△36.6	21.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3頁「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	50,862,300 株	24年3月期	50,862,300 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	1,035,834 株	24年3月期	10,034 株
----------	-------------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	50,785,123 株	24年3月期3Q	50,848,835 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3頁「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、内閣府発表の月例経済報告によれば、企業収益の持ち直しがほぼ頭打ちとなり、個人消費も緩やかな増加から横ばいに転じるなど依然として厳しい状況にあり、海外景気の不確実性を背景として予断を許さない状況が続いております。また、当社グループが事業展開している欧州経済は、債務危機の影響からユーロ圏における実質GDPのマイナス成長が見込まれ、失業率も高水準で上昇し続けており、引き続き厳しい環境で推移しました。

当社グループの属するパソコン業界におきましては、世界的な景気減速等の影響により、世界市場での総出荷台数は前年同四半期比で減少しました。また、社団法人電子情報技術産業協会の発表によれば、国内のパソコンの出荷台数は前年同四半期並みながら、出荷金額は同9.0%減となり、販売単価の下落により市場規模は前年同四半期比で引き続き縮小しました。

このような状況の中で、当社グループは、「マウスコンピューター」「パソコン工房」をメインブランドとするBTO（受注生産）・完成品パソコンの製造・販売と、CPU（中央演算処理装置）・マザーボード・HDD（ハードディスクドライブ）をはじめとするパソコン基幹パーツの卸売・小売を中心に、引き続きマーケットのニーズを的確に汲み取りながら、適切な収益の確保を念頭に置いて事業を展開してまいりました。

また、パソコン市場の成熟化の進行は避けられないことから、持続的な利益成長を目指すうえで既存及び隣接する事業分野でのM&Aを有効な選択肢の一つと考え、法人市場向けにHDD・SSD（ソリッドステートドライブ）等を販売するソルナック株式会社を第1四半期より連結決算に組み入れたほか、愛知県を中心に小売事業を展開する株式会社グッドウィルを孫会社化（その後、子会社の株式会社ユニットコムにより昨年10月1日付で吸収合併）し、第2四半期より連結決算に組み入れました。

さらに、業績の低迷が続いている小売事業の経営体制を昨年11月より刷新するとともに、従来より一層踏み込んだグループシナジー発揮のため、グループ横断で改めて事業・機能の最適配置を図る構造改革に着手しました。

これらの結果、主力であるパソコンの販売単価下落やパーツの販売低迷が続く中、当第3四半期連結累計期間の売上高は61,309百万円（前年同四半期比4.8%増）となりました。一方、利益面におきましては、販売単価下落等により売上総利益率が前年同四半期比で低下し、営業利益は750百万円（前年同四半期比60.3%減）、経常利益は864百万円（同59.8%減）、四半期純利益は608百万円（同49.3%減）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

(1) パソコン関連事業

「マウスコンピューター」ブランドによるパソコン、「iiyama」ブランドによる液晶ディスプレイの国内製造・販売部門においては、法人向けの販売が前年同四半期実績を上回ったこと等により売上高は前年同四半期比で増加しましたが、販売単価の下落に伴う売上総利益率の低下等により営業利益は前年同四半期比で減少しました。

「iiyama」ブランドによる液晶ディスプレイの欧州販売部門においては、順調に販売台数を伸ばしユーロ建て売上高は前年同四半期比で11.2%増、営業利益は6.7%増となったものの、円高ユーロ安により円建てでの売上高・営業利益ともに前年同四半期比で減少しました。

「パソコン工房」「Faith」「TWOTOP」「GOODWILL」ブランドで全国に店舗展開する小売部門においては、株式会社グッドウィルの買収効果により売上高は前年同四半期比で増加しましたが、価格競争の激化に伴う売上総利益率の低下等により営業利益は前年同四半期比で減少しました。

パソコン及びCPU・マザーボード・HDD等パソコン基幹パーツの代理店販売・卸売部門においては、年末商戦の需要が堅調であったこと等により売上高は前年同四半期比で増加しましたが、主要取引先に対する売上値引の増加に伴い売上総利益率が低下したこと等により営業利益は前年同四半期比で減少しました。

これらの結果、当事業における売上高は59,811百万円（前年同四半期比5.0%増）、営業利益は735百万円（同58.3%減）となりました。

(2) メディア事業

メディア事業部門においては、出版市場の縮小が続く中、積極的に新刊を投入しましたが、年賀状関連書籍の需要低迷等により売上高・営業利益ともに前年同四半期比で減少しました。

この結果、当事業における売上高は1,499百万円（前年同四半期比2.5%減）、営業損失は21百万円（前年同四半期は営業利益93百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は43,017百万円となり、前連結会計年度末と比べて6,101百万円の増加となりました。これは主に、第1四半期連結会計期間末において株式会社グッドウィルを連結子会社化（その後、子会社の株式会社ユニットコムにより昨年10月1日付で吸収合併）したことにより固定資産が増加したことに加え、現金及び預金並びにたな卸資産が増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は26,121百万円となり、前連結会計年度末と比べて6,109百万円の増加となりました。これは主に、未払法人税等が減少したものの、買掛金が増加したほか、借入金が純増したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は16,896百万円となり、前連結会計年度末と比べて7百万円の減少となりました。これは主に、四半期純利益等により利益剰余金は増加したものの、自己株式の取得により自己株式が増加したこと、子会社株式の追加取得により少数株主持分が減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績につきましては、現時点では平成24年10月30日に公表しました予想に対する修正を必要としない範囲で推移しております。

当社グループは、主力事業であるパソコン関連事業において、新製品及び新サービスの開発と、効果的な広告宣伝・販売促進施策の展開により、新たな顧客層を開拓することで売上高の増加に努めるとともに、グループシナジーを最大化し、連結業績予想の達成に向けて経営努力を重ねてまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,615,314	11,781,404
受取手形及び売掛金	9,759,470	9,997,933
営業投資有価証券	9,586	4,430
商品及び製品	7,575,492	9,183,452
仕掛品	99,259	112,977
原材料及び貯蔵品	2,072,134	2,382,161
その他	1,695,347	2,048,032
貸倒引当金	△20,532	△14,924
流動資産合計	30,806,073	35,495,467
固定資産		
有形固定資産	2,773,378	3,193,869
無形固定資産		
のれん	1,354,803	1,978,927
その他	434,253	502,664
無形固定資産合計	1,789,056	2,481,592
投資その他の資産		
その他	1,579,321	1,878,487
貸倒引当金	△31,637	△31,581
投資その他の資産合計	1,547,684	1,846,905
固定資産合計	6,110,119	7,522,367
資産合計	36,916,193	43,017,834
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,514,312	8,316,615
短期借入金	5,651,604	8,890,142
未払法人税等	487,995	96,249
引当金	819,458	757,146
その他	2,317,310	2,100,794
流動負債合計	13,790,681	20,160,947
固定負債		
社債	500,000	661,000
長期借入金	4,643,531	4,026,015
退職給付引当金	579,535	720,608
その他の引当金	111,140	120,270
その他	387,292	432,450
固定負債合計	6,221,498	5,960,343
負債合計	20,012,179	26,121,291

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,849,104	3,849,104
資本剰余金	8,335,508	8,335,508
利益剰余金	5,214,076	5,560,999
自己株式	△5,934	△170,062
株主資本合計	17,392,754	17,575,549
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	46,587	△2,092
繰延ヘッジ損益	△25	△25
為替換算調整勘定	△950,402	△950,838
その他の包括利益累計額合計	△903,840	△952,956
少数株主持分	415,100	273,950
純資産合計	16,904,013	16,896,543
負債純資産合計	36,916,193	43,017,834

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	58,474,774	61,309,972
売上原価	47,347,642	50,787,080
売上総利益	11,127,132	10,522,892
販売費及び一般管理費	9,238,202	9,772,099
営業利益	1,888,930	750,792
営業外収益		
受取利息	36,984	24,649
受取配当金	75	75
為替差益	40,242	—
負ののれん償却額	13,814	13,814
受取手数料	177,377	167,398
受取賃貸料	89,090	112,504
その他	32,857	29,861
営業外収益合計	390,441	348,303
営業外費用		
支払利息	68,441	53,712
為替差損	—	124,812
賃貸収入原価	32,063	38,583
その他	28,043	17,338
営業外費用合計	128,548	234,446
経常利益	2,150,822	864,649
特別利益		
固定資産売却益	1,144	6,206
投資有価証券売却益	—	13,363
子会社株式売却益	62,809	—
負ののれん発生益	4,422	23,985
受取保険金	17,186	31,436
特別利益合計	85,563	74,991
特別損失		
固定資産売却損	156	19,913
固定資産除却損	45,219	10,908
減損損失	28,236	16,581
和解金	54,340	—
その他	85,776	168
特別損失合計	213,728	47,571
税金等調整前四半期純利益	2,022,657	892,068
法人税、住民税及び事業税	694,495	270,008
法人税等調整額	105,199	19,303
法人税等合計	799,695	289,312
少数株主損益調整前四半期純利益	1,222,962	602,756
少数株主利益又は少数株主損失(△)	22,813	△5,547
四半期純利益	1,200,148	608,303

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,222,962	602,756
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,681	△48,680
繰延ヘッジ損益	43,361	—
為替換算調整勘定	△54,577	△435
その他の包括利益合計	△22,898	△49,115
四半期包括利益	1,200,064	553,640
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,177,250	559,188
少数株主に係る四半期包括利益	22,813	△5,547

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年12月13日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき自己株式を取得することを決議し、自己株式の取得を行いました。これにより、当第3四半期累計期間において自己株式は164,128千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において170,062千円となっております。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書計上額 (注) 2
	パソコン 関連事業	メディア 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	56,936,069	1,538,705	58,474,774	—	58,474,774
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,088	—	1,088	△1,088	—
計	56,937,157	1,538,705	58,475,863	△1,088	58,474,774
セグメント利益	1,765,414	93,189	1,858,604	30,325	1,888,930

(注) 1. セグメント利益の調整額30,325千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△320,108千円、セグメント間取引消去350,424千円、その他の調整額10千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書計上額 (注) 2
	パソコン 関連事業	メディア 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	59,810,050	1,499,922	61,309,972	—	61,309,972
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,099	—	1,099	△1,099	—
計	59,811,149	1,499,922	61,311,072	△1,099	61,309,972
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	735,901	△21,018	714,883	35,909	750,792

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額35,909千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△308,768千円、セグメント間取引消去344,670千円、その他の調整額7千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」に記載の通り、当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間のセグメント損益に与える影響は軽微であります。